

海外医療研修コース特論・演習

Integrated International Student Exchange Program

薬：L1-24613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 赤沢 学(公衆衛生・疫学研究室)

■ 教育目的

カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部など他国の医療制度、薬学教育や薬剤師の役割(薬局業務、病院業務)などについて、研修で習得したことをもとに、日本との違いを比較検討する。【卒業認定・学位授与：YD-⑤、YD-⑥】

■ 学習到達目標

1. 海外の薬学生に日本の医療制度、薬剤師の役割、薬剤師教育を説明できる(知識、技能)。
2. 海外での実習経験を生かして、日本の薬剤師のあるべき姿を議論する(知識、技能)。
3. 将来のキャリア選択に、海外留学経験を生かす(態度)。

■ 準備学習(予習・復習)

予習：英語検定など継続的に英語学習を続ける(10時間以上)。

復習：語学力と海外留学の経験を生かして、キャリア選択を考える。

■ 授業形態

グループワーク、プレゼンテーション、講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1～5	海外医療研修コース特論	国際保健分野で活躍する医療関係者の体験談、提携大学の教員による講義・ワークショップ等	A(5)-①-1～5、A(5)-②-1～2、A(5)-③-1～2、A(5)-④-1～2
6～7	海外医療研修コース演習	語学検定(TOEIC等)	A(5)-①-1～5、A(5)-②-1～2、A(5)-③-1～2、A(5)-④-1～2
8～11	コース合同特論	他コース(地域医療・伝統医療薬学等)の特別講義	
12～13	特別講義	多職種連携について(仮題、日本社会事業大学担当)	
14～15	特別講義	処方解析について(仮題)	

■ 授業分担者

赤沢 学(責任者)、樋口 和宏、酒井 良子、榎山 暁史、前田 英紀、外部講師

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

語学検定の成績(30%)並びにワークショップ、特別講義などの授業態度とレポート内容(70%)で総合評価を行う。

■ 教科書

必要に応じてプリントを配布する。

■ 参考書

特に指定なし。